

庁議の概要

開催日 平成 25 年 5 月 13 日 (月)

◎項 目

- 1 高知県版南海トラフ巨大地震による被害想定の概要について【危機管理部】
- 2 7月の広報計画について【総務部】
- 3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 高知県版南海トラフ巨大地震による被害想定の概要について【危機管理部】

危機管理部から、平成 25 年 5 月 15 日の知事記者会見で公表を行う高知県版南海トラフ巨大地震による被害想定の概要について説明を行った。

【概要】

○県版被害想定目的

- ・地域防災計画や南海地震対策行動計画などの県が進める南海トラフ巨大地震対策の前提とする。
- ・具体的な被害の規模や様相を明らかにすることで、市町村の防災対策や市町村の相互支援に活用するための基礎資料とする。
- ・被害規模を明らかにし、県民の皆さまの防災対策への理解を深めるとともに、具体的な被害軽減効果を示すことで自助・共助の取り組みを促進する。

○被害想定の対象とする地震・津波は、最大クラスの地震・津波と発生頻度の高い一定程度の地震・津波とした。

- ・被害の規模は、過去の被害事例等に基づいて推計。
- ・前提条件：住宅の耐震化率は現状の 74%

津波から迅速に避難する人は全体の 20% 等

※ 前提条件は、今後の県民の皆さまの行動や県、市町村の取り組みにより大きく変えることができる。

※ 想定結果をいたずらに怖がることなく、「正しく恐れ」、事前の備えを進めることが大事。

○高知県版南海トラフ巨大地震による被害想定の内容は、南海地震対策課ホームページに掲載をする。

高知県庁トップページ > 組織でさがす > 危機管理部 > 南海地震対策課

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/higaisoutei-2013.html>

(尾崎知事)

- ・非常に厳しい数字となっているが、しっかりと対策を講じていくことで被害を大幅に軽減させることができることも示している。
- ・今回の被害想定を計算する過程で、耐震化の不足による死者、避難しきれない人々が出ることが分かり、耐震化が重要である。
- ・各部局で今回の被害想定を踏まえリアルに物事を考え、現実的な対策をそれぞれの市町村に講じていただくことが大事である。

2 7月の広報計画について【総務部】

総務部から、7月の広報計画について概要説明を行った。

【概要】

- 6月の変更点「おはようこうち」
 - ・6月16日：高知県版南海トラフ巨大地震による被害想定を発表
 - ・6月30日：産業振興計画（ものづくり地産地消センターの取り組み）
- 主な広報内容
 - ・さんSUN高知：南海トラフ巨大地震対策
 - ・特別番組：産業振興計画
 - ・おはようこうち：産業振興計画、教育改革、森林環境税
 - ・ラジオ番組：産業振興計画、健康長寿県構想、教育改革、リョーマの休日
 - ・県民ニュース：産業振興計画、健康長寿県構想、少子化対策の推進

3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。